

監査報告書	被監査部門: 安全統括管理者	監査年月日: 令和1年12月6日
～監査チーム～		
監査リーダー: 廣田和軌	監査員: 石川 徹	監査員 増山俊裕

## 1. 監査の目的

運輸事業に係る安全管理体制に関する内部監査について従事する要員の責任、権限、内部監査の計画から完了に至るまで内部監査が適切かつ確実に行われ安全管理体制の更なる改善を図ることを目的とする。

## 2. 監査の講評・所見

全体的に良くできていたが、何箇所か達成できないところがあった。  
法定速度を超過しないように運転手に再度教育をした。

## 3. 優良事例

月に1度の代表者、安全統括管理者、社員を交えての安全に関する指示、指導をしたり社員からの意見・要望などを聞いたり、ヒヤリハット情報を集め事故防止に活用しているところが良かった。

## 4. 指摘事項

安全の確保に向けた取組状況(安全目標、目標達成、安全管理の取組体制事故防止策)を点検しているが、状況を記録していなかったのが今後の課題にする。

## 5. 重点監査項目の所見

- ①輸送の安全に関する定期的な会議。事故防止策を年に4回実施。
- ②目安箱の意見・要望の確認、対応をすばやくする。
- ③ヒヤリハットを経験した調査票の確認。  
事故防止に活用しているが皆に周知していなかったのが今後は周知する。

本社営業所

## 6.前回監査での指摘事項に対する改善状況

常時掲示しておくものは、長期にわたり掲示しておくに当たり、変色してしまうので、計画的に貼り替えが必要なもの(事故事例)は担当者を決めて1ヶ月ごとに貼り替えるようにしている。




## 7.フォローアップ監査の予定

監査予定日:R1.12.13

監査の結果:実施状況の記録をしました。改善がみられました。

## 8.その他特記事項等

今後、内部監査を年2回実施するようになりたい。

承認	確認	作成
1年12月20日	1年12月18日	1年12月13日
社長 	安全統括管理者 	監査士 

## 内部監査の結果に基づく改善措置

### ■明らかとなった課題

- 1.速度超過が見られる
- 2.目安箱の意見、要望についての対応にかかっている
- 3.ヒヤリハット調査票が社内周知ができていない

### ■明らかとなった課題の原因

- 1.法定速度の確認不足。
- 2.目安箱の中を確認する日を決めていなかった。
- 3.調査票を記入し、ファイルに保存しているだけだった。

### ■明らかとなった課題の是正措置

- 1.法定速度の確認の徹底。  
事前に道路状況や天候を確認し、余裕を持って運行する様指導した。
- 2.目安箱は月に1回必ず経営者が確認をし、すばやく対応する。
- 3.ヒヤリハット調査票を記入後、営業所内に貼り出し周知する。  
会議の議題にし、ヒヤリハット調査票を使いながら他の運転手にも情報共有するよう指導した。